

経営比較分析表（令和5年度決算）

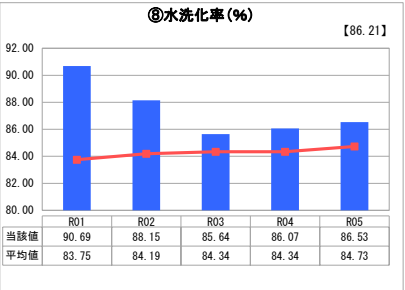
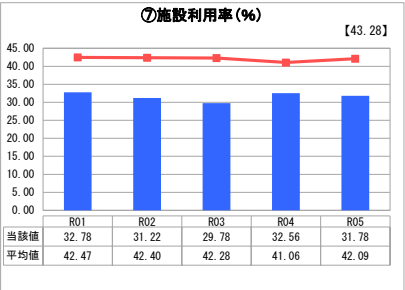
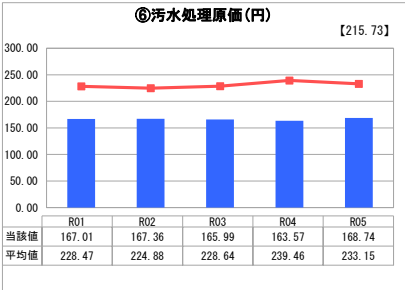
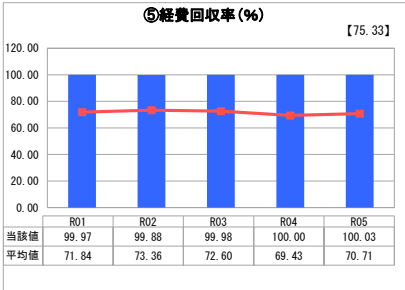
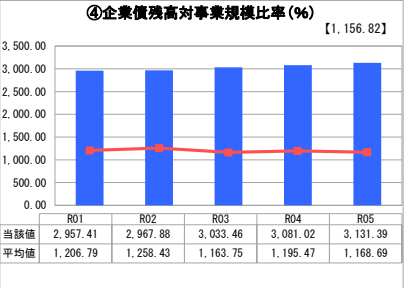
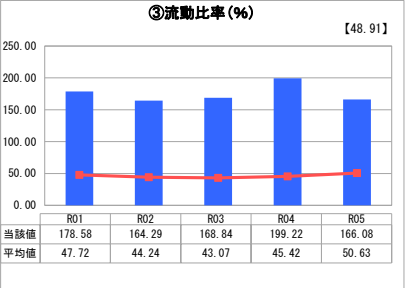
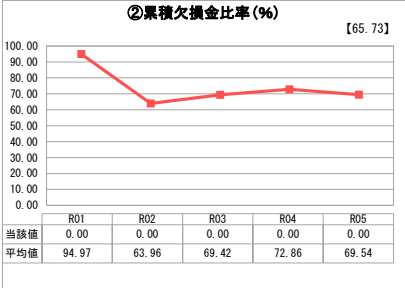
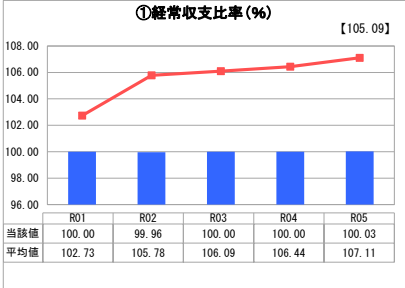
広島県 広島市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	35.97	1.01	98.02	2,219

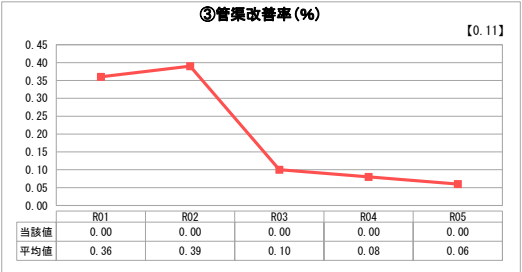
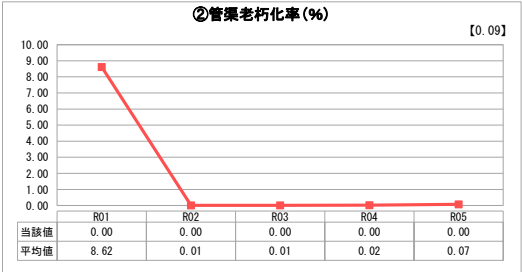
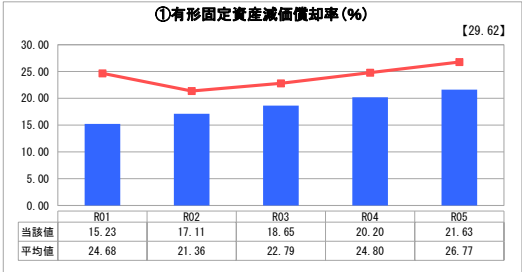
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,178,773	26.46	44,549.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,884	3.59	3,310.31

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
使用料以外に他の補てん財源を受けて収支を均衡させていることから、ほぼ100%となっています。
- ②累積欠損比率
累積欠損金が生じていないことから、0%です。
- ③流動比率
100%を超えています。
- ④企業償還高対事業規模比率
類似団体の平均値を上回っています。
- ⑤経費回収率
ほぼ100%となっています。
- ⑥汚水処理原価
類似団体の平均値を下回っています。
- ⑦施設利用率
類似団体の平均値を下回っています。
- ⑧水洗化率
類似団体の平均値を上回っています。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っていますが、有形固定資産の帳簿価格に対する減価償却累計額は毎年増加しており、更新時期を迎える資産が増加しています。
- ②管渠老朽化率・③管渠改善率
耐用年数を経過している管渠はなく、0%となっています。

全体総括

使用料収入で経費が賄えず、他から補てん財源を受けて経常収支比率をほぼ100%としているため、水洗化率の向上等に取り組むとともに、費用の削減に努める必要があります。
本市では、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水及び市営浄化槽を一つの下水道事業として一体的に運営しており、令和6年2月に策定した中期経営プラン（令和6年度～令和9年度）に掲げた整備計画とその裏付けとなる経営計画を着実に実行し、全体として健全で効率的な運営に引き続き努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。